

A decorative header section with a dark green background. It features several yellow leaf silhouettes of various shapes and sizes scattered across the top and left sides.

NEWS LETTER

Ver. 2012. 11

A decorative section with a dark green background. It features several yellow leaf silhouettes scattered on the right side.

TRAM SYSTEM

今月のコンテンツ



- ◎ **増えるネット犯罪 その対策**
 - ・警察だけでは対応出来ない？

一千億円以上^{※1}
ネット犯罪の被害総額は
年間で一千億円以上



- ◎ **光ネクスト集 トラムシステムに導入**
 - ・最大速度 1Gbps 実際のところどうなの？

3秒に1回^{※2}
ネットで個人情報が
盗まれるのは3秒に1回



- ◎ **Windows Server 2012**
 - ・クラウド時代に必要なテクノロジーが全て搭載！

3人に2人^{※2}
世界のネットユーザーの
3人に2人が被害経験を持つ

※1 出典: Australian High tech crime conference
※2 出典: シマンテック セキュリティレスポンス

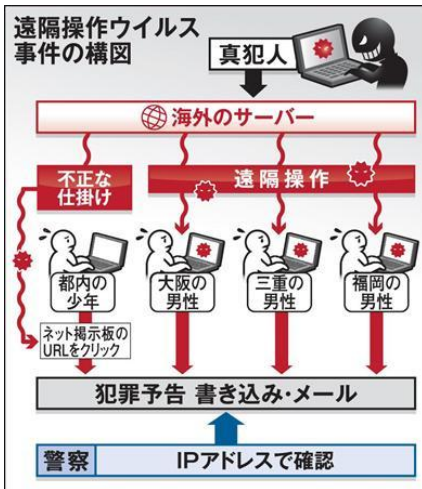


この季節になると必ずと言って良いほど良く耳にする言葉があります。「もう1年終わりか～・・・」私も毎月のように「もう〇月か！こないだ年明けたと思ったのに！！」などと言っております・・。

月日の移り変わりは早いもので、通信業界も標準となるものがドンドン変わって行きます。例えばパソコンのスペックにしてもそうです。現在のWebサイトの作成基準が、現行機のパソコンのスペックを基準に作られるため、一昔前のパソコンでは重くてなかなか見れなかったりします。現代の通信基準をしっかりと掴み、標準ラインより前に立つことで競合相手との差を付けましょう。

◎ 増えるネット犯罪 その対策

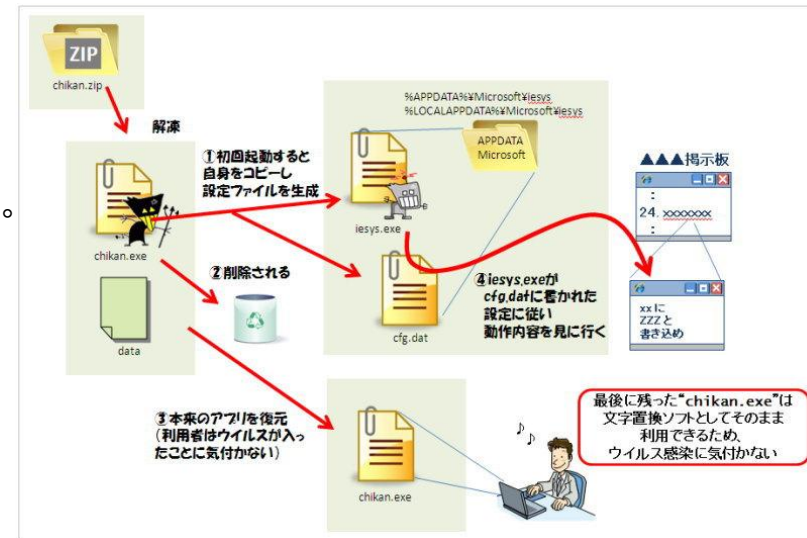
・警察だけではもう対応出来ない？



今年の9月、世間を震撼させた遠隔操作ウイルス。第三者のPCをウイルスで感染させて遠隔操作を行い、犯罪に利用する。真犯人は幾重にも海外サーバーをまたがった状態からウイルスをまいているので尻尾すら掴めないといった状況です。

警察庁は140人態勢の合同捜査本部を設置、技術力の高いサイバー捜査官らを集め、警察の威信をかけた捜査に乗り出しています。が、周囲の捜査員はすでにあきらめムードが広がっているそうです。ある操作幹部は「真犯人が何らかのミスをしていない限り、たどり着くのは不可能だろう。」と取材に対し答えています。

更に問題なのは、今回のウイルスが専門学校で教えられる程度のプログラミング技術で簡単に出来てしまう、「100人に1人の天才ハッカーが仕掛けたサイバー犯罪」では無いということです。もはや自分の身は自分で守るしかありません。今回のケースも犯行声明が無ければ実刑を受けていた人もいます。こうしたウイルスに感染しないために我々が出来ることは、昔から変わってませんが、「怪しいサイトには行かない。」この一言に尽きるでしょう。「男はこれがなかなか難しい・・・」とおっしゃられる方もおられるでしょう！ そんな方のために是非とも対策をご紹介したい！ のですが・・・。 眞に自らはまりに行った人を助けるようなモノはなく、防弾チョッキ代わりにウイルス対策ソフトを入れておく、といったところでしょうか・・・。



◎ 光ネクスト隼 トラムシステム導入開始

今回使用した回線速度測定ツール

<http://netspeed.studio-radish.com/index.html>



NTTのエクスプレスタイプ(通信速度最大1Gbps)が隼となって大幅値下げされました。トラムシステムでは現在光ネクスト(200Mbps)を使っています。月額が同じで工事費も無料とあったので、隼に変えてみましょうということに。最大とは言え、通信速度が5倍になるわけですからこれは楽しみです。5倍のスピードになるとは、例えるなら小学生が自転車に乗った時の平均速度が15km/hくらいですから、これが5倍になるとなんと75km/h!! これはさっそく検証しなければいけませんね。

ではまず、隼へ切り替える前の回線速度を取っておきましょう。

- ① 最大速度で200Mbpsですから、上出来と言える数字ですね。

- ② ……なるほど。まあ…少しは早くなりましたか…。

下り回線	
速度	158.6Mbps (19.82MByte/sec)
測定品質	91.1
上り回線	
速度	91.97Mbps (11.50MByte/sec)
測定品質	93.4

それではいよいよ
隼へ切替です!



下り回線	
速度	193.0Mbps (24.13MByte/sec)
測定品質	94.6
上り回線	
速度	104.1Mbps (13.01MByte/sec)
測定品質	98.2

同じ事務所で、他のパソコンで調べてみたところ…。
下り回線速度が500Mbps弱出ていました!!
同じ回線使ってもこんなに変わるもんなんですね…。

ちなみに
You Tubeなどの動画は3Mbpsあれば良く、通常業務で使うようなものなら20~30Mbpsあれば十分だそうです…。
これはもはや気分の問題な気がしますが、今光プレミアムやネクストを使用されてる方は、変更しておいてもいいかもしれません。

◎ Windows Server 2012

クラウド時代に必要なテクノロジーが全て搭載



Windows Server 2012 注目機能ダイジェスト

『the Cloud OS』として開発されたWindows Server 2012は、従来のクライアント/サーバーから、データセンターの仮想化、プライベートクラウド、そしてパブリッククラウドまで、すべてカバーする唯一のOSといっても過言ではありません。180以上とも伝わる新機能の中から、注目機能をピックアップしてご紹介致します。

【注目機能 ①】

Hyper-Vの強化

仮想マシンのスケールアップ

Windows Server 2012は、最大64のソケット（物理プロセッサ）、最大640（Hyper-V利用時は最大320）の理論プロセッサ、最大4TBの物理メモリという、これまでのWindows Server で最大のスケラビリティを提供しています。Standardは1ライセンスで最大2つの仮想化インスタンス、Datacenterは無制限の仮想化インスタンスを実現させます。

Hyper-Vレプリカ

仮想マシンのレプリカを別のHyper-Vサーバーに作成し、5分ごとに仮想ハードディスクの変更差分をレプリケーションすることで、障害時のバックアップとしてすぐに起動できる仮想マシンを準備する機能です。

【注目機能 ②】

ファイルサービスの強化

記憶域プール

スペック（サイズや接続インターフェイス）やベンダーの異なる複数のハードディスクを束ね、論理的な1つのストレージとしてプール化することが出来ます。

SMB3.0

Windows Server 2012には、ファイル共有プロトコルの最新バージョン「SMB3.0」が搭載されています。SMB3.0は、SMB透過フェールオーバー、SMBスケールアウト、SMBマルチチャンネル、SMBダイレクト、SMB暗号化などの新機能を搭載し、ファイル転送速度の高速化、信頼性と耐障害性の向上、セキュリティの強化が行われています。

【注目機能 ③】

クラウド対応の強化

クラウドベースのオンラインバックアップ

Windows Server 2012は、Windows Azure Online Backupサービスと連携した、クラウドベースのバックアップ機能を提供します。バックアップ方法は、ローカルバックアップとほとんど変わらず、一度バックアップスケジュールを構成し、バックアップ対象とスケジュールを設定するだけです。



トラムシステム株式会社

〒465-0063

愛知県名古屋市名東区新宿2丁目55番地

TEL:052-701-2634

FAX:052-701-2637

Mail : info@tramsystem.jp